当院での無痛分娩転帰に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026 年 11 月 5 日 ～ 2035 年 12 月 31 日

〔研究課題〕
帝京大学医学部附属病院における無痛分娩と母体・新生児転帰との関連:単施設後方視的観察研究
〔研究目的〕
近年、硬膜外鎮痛を用いた無痛分娩を希望される妊婦さんが増加しています。当院でも 2022 年 6 月より無痛分娩を導入しています。
本研究では、当院で無痛分娩を行った方と無痛分娩を行わなかった方について、患者背景、分娩経過、分娩方法および新生児の状態などを比較し、当院における無痛分娩の分娩転帰および新生児転帰を明らかにすることを目的とします。本研究によって得られた知見は、今後のより安全で適切な分娩管理に役立てることを目指します。
〔研究意義〕
無痛分娩を行った方と行わなかった方の分娩経過や母体・新生児の状態を比較することで、当院における無痛分娩の特徴や安全性について検討します。本研究によって得られた結果は、今後、より安全で適切な無痛分娩の管理を行うために役立つことが期待されます。
〔対象・研究方法〕
2022 年 6 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までに帝京大学医学部附属病院産婦人科で分娩された方を対象とします。
ただし、妊娠 36 週 0 日未満で分娩となった方、多胎妊娠の方、予定帝王切開で分娩された方、および診療録の情報が不十分で研究に必要な情報を得ることができない方は、研究の対象から除外します。
診療録(カルテ)にすでに記録されている情報を用いて、無痛分娩を行った方と行わなかった方の分娩経過および母体・新生児の状態を比較します。
研究には、年齢、身長、体重、BMI、妊娠・分娩歴、分娩時妊娠週数、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などの妊娠合併症、入院時の診察所見、無痛分娩の有無、破水や人工破膜の状況、陣痛促進薬の使用、分娩所要時間、分娩方法(自然分娩、鉗子分娩、吸引分娩、帝王切開など)、出血量、児の出生体重、Apgar score、臍帯動脈血 pH、NICU 入院の有無などの情報を使用します。
本研究は通常の診療で得られた情報を用いて行うため、研究のために新たな検査や処置を行うことはありません。
〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕
研究に使用する情報は、氏名や診察券番号など個人を直接特定できる情報を取り除き、研究用の番号を付して適切に管理します。本研究で収集した情報を取り扱うのは本学の研究者のみであり、本学以外の研究機関や第三者への情報の提供は行いません。
対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 渡邉さや 職名 助手
所属:帝京大学医学部附属病院 産婦人科学講座
住所:173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)